

●国際ロータリーテーマ



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●本日の例会

●RI第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を！』

●第2719回 平成27年 8月28日(金)

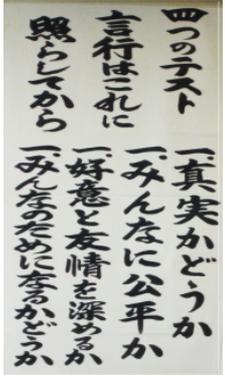
クラブフォーラム

テーマ 「鯖江ロータリークラブの目指すべき将来像」

鐘 12:30~
4つのテスト
会長の時間
幹事報告等
クラブフォーラム

▼第2718回例会報告 2015年8月21日▼鯖江商工会館 3階 中ホール 出席率 89.28%(出席者数 25名)

四つのテスト



四つのテスト

佐野 直美 ソングリーダー



RLI研修修了書の授与



小部会長(写真左)から、田村副会長へRLI研修修了書が授与されました。副会長は、「先月、26日午前9時30分~午後5時まで、参加。あと、9月13日、11月15日に開催され、3回コース。次年度会長として、参加が義務づけられていると思っていたが、受けなくても会長になれるそうだ。勘違いしていた。そして、何人でも、いろいろな役職や新人の方が参加してもよい。内容のなる研修なので、当クラブは、積極的に参加するといいいと気づかせてもらった。しっかりと、9月も勉強したい。ありがとうございました」と述べました。

お客様の紹介及び会長の時間



小部 隆充 会長

本日のお客様。鯖江市役所地方創生戦略室室長の齋藤邦彦様。同じく、勝手にふるさと納税推進員で、主事の八田理恵様。後ほど、「鯖江市のふるさと納税について」のテーマで卓話願う。

大変暑い日々が続いている。先週は、お盆で休会だった。いかがお過ごしでしたか。先日、18日(火)の福井新聞に、福井RCの広告が出ていた。内容は、「おもてなし活動、ガム取り大作戦」。JR福井駅前周辺の広場・歩道には、吐き捨てられたガムが黒くこびりついている箇所が多々ある。

北陸新幹線金沢開業等により、県外から福井へ来る人々が、美しいと感じられる街であるようにガムを取り除き、街の美化を積極的に進める活動を行う。一緒に福井をもっとキレイにしませんか?と、同作戦への参加を呼び掛けている。日時は、9月5日(土)午前8時~9時30分。集合場所は、同駅東口広場。募集定員は、300人。この内容の広告が、紙面3分の1の大きさで、出ていた。社会奉仕活動の一環の行事だが、RCメンバーが、市民に働きかけて一緒に活動するところが、とても素晴らしいと思った。当クラブも、我々だけでやるのではなく、市民の方を募って一緒に行動すれば、人数が増え仕事ははかどり、インパクトも増すと思った。

また、丸岡南RCでは、我々と同様、高校生の模擬面接を行っている。先日、その様子がTVで放映された。動画による面接の様子、会長のインタビュー等。動画なので、かなりインパクトがあった。だれがどのようにTV局にアプローチし、取り上げてもらったのか。当クラブも、次年度はぜひTVに挑戦したいと思った。



幹事報告



大橋 良史 幹事

来週の例会は、クラブフォーラム。テーマは、「鯖江ロータリークラブの目指すべき将来像」。

現会員の皆さんが、「こんなクラブであってほしい」というような要望等、自由な討論を予定している。いろいろな意見があると思うが、できるだけみなさんの声を吸い上げたい。

30分と限られた時間であるため、本日配布の会員満足度アンケート、こちらを来週の例会には、回答のうえ、持参してほしい。クラブフォーラムは、田村副会長の進行のもと、アンケート内容を基に発言願いたい。

なお、会報委員会の活動方針に、「単に情報を流すだけでなく、会員の声を吸い上げる」方針がある。これも達成に向け努力したい。

次に9月9日の鯖江北RCとの合同例会について。前回、案内したが、9月9日(水)。夜間例会。18時30分。場所は、神明苑。送迎バスを当会館から、18時出発で用意する。後ろの出欠表に記入をお願いしたい。

あと、10月に開催されるIMの件。例年どおり、開催した翌年は、100%登録で返す。何卒、ご理解とご協力をお願いしたい。

委員会報告



8月8日(土)、京都のホテルオークラで、地区の広報委員会会議が開催され、広報委員会の清水康弘委員長が出席。内容は、「ホームページを使ってどんどんPRしてほしい」、「事業をする場合は、何週間か前からプレスリリースをし、計画的にやってほしい」、「新聞等に取り上げられたら、データを地区に提出してほしい」との依頼。次に、毎日新聞奈良支局長が、メディアからアドバイス、「RCは、まじめにやっているが、新聞に掲載したくても、記事として魅力がない。だから、なかなか載りにくい。それを何とか載せようと思ったら、メディアの方と親密な関係を作ってほしい。各地区で行われた、ガバナーの記者会見。福井では、新聞に載りTVにも流れた。奈良でも一生懸命やったが、載らなかった。奈良の広報委員会が悪いのではなく、きっと福井は、ニュースがなかったからだ」と話したが、平田ガバナー補佐は、「福井は、全てのマスコミが、RCに入っているからだ」と返しました。最後に、中澤ガバナーは、「いろいろメディアに載せてもらうために行動するのはいいが、日本人の美德としてはいかがなものか」と述べました。

ニコニコBOX報告

(敬称略・順不同)



感謝し報告する
岡本圭子委員長

- 1 大橋 良史
- 2 田村 康夫
- 2 帰山 明朗
- 2 齋藤 多久馬
- 2 窪田 健一
- 2 岡本 圭子



- 1 : 齋藤さまの卓話を楽しみにアンケートのご協力をお願いします
- 2 : 市役所より齋藤室長と八田さんをお迎えして



ソング委員会
佐野直美 委員長
9月18日(金)の第3例会終了後に、ソング練習会を実施する。会員の出席と練習をお願いしたい。



野中敏昭前幹事
前年度幹事からのお知らせ。本例会終了後、事務局で、前年度会計の報告をする。前年度理事の方は、出席をお願いしたい。

卓話「鯖江市のふるさと納税制度について」

鯖江市役所 地方創生戦略室 室長 齋藤 邦彦 様



本日は、制度説明の機会をもらい、感謝している。これから、説明と合わせて、納税についてお願いしたい。

最近、マスコミ等で頻繁に取り上げられている。ふるさと納税制度は、西川知事が、2006年頃からの提唱者の一人で、2008年に制度化された。

制度の概要を説明する。

「ふるさと納税制度」とは、鯖江市出身の方に限らず、応援したい、貢献したいと思う自治体へ、寄附をする制度。納税という名前になっているが、寄付をする行為。もう一つ、2,000円を超える金額を鯖江市等の地方自治体に寄附した場合、所得税の還付と住民税の控除がある。税金が戻ってくるおいしい制度。

また、3万円以上寄付した方、これは、鯖江市の制度だが、金額に応じてポイントが付与される。この点は、後ほど詳しく説明する。

今、簡単にできるとなっているが、なかなか馴染みがない。簡単に鯖江市の場合で、イメージを説明する。

下記の①寄付の申し込み→②市から支払い用書類等の送付→③支払い手続き→④市から領収証明書、お礼状等の送付→⑤確定申告（領収証明書添付）→⑥税務署から所得税の還付→⑦市から、翌年度の住民税を減額。という流れになる。この辺については、後ほど詳しく説明する。

ふるさと納税のイメージ



次に、**昨年の税制改正**で、大きく2つ改正されたので、説明する。一つ目、寄付金の目安額が約2倍になった。

これまで、住民税の控除額の1割だった控除上限額が2割に拡充された。上限を所得割額の1割としていたが、平成27年1月1日以降に寄附をした分、所得割額の2割を上限とするようになり、税の軽減額がこれまでよりも増えた。

もう一つのポイントは、ワンストップ特例を申請することで、少し条件はあるが、面倒な確定申告が不要となる点。平成25年度の全国のふるさと納税額を調べてみると、約142億円。しかし、確定申告で税の控除をされた金額は、約60億円。つまり、80億円は、ふるさと納税したが、税の還付を受けていないことになる。各自治体にとっては、いい話だが、本来の趣旨と若干ずれている。

こういうこともあり、本年4月から、少し条件はあるが、届け出があれば、所得税の還付はなくなるが、その分住民税で控除され、確定申告の必要がなくなった。

そして、例えば、鯖江市民の方が、鯖江市にふるさと納税をする場合、「意味があるのか」とよく聞かれる。住民税は、市民税が6割、県民税が4割という内訳。6割は、市民税が減額される。

仮に、鯖江市民が、5万円、鯖江市にふるさと納税をすれば、3万円鯖江市の市民税が減額される。5万納税が増えても、純粋には、2万円鯖江市に増える。そして、4割分の2万円は、県税の分が鯖江市に振り分けられる。

ふるさと納税は、鯖江市民に納税をお願いすることが大事だが、市外の方、県外の方に納税してもらえよう、皆さんから、PR、周知願えとありがたい。さらに加えて、**今年の4月から改正**し、お礼品が充実。従来、鯖江市では、3万円以上の納税で、ふるさと産品のお礼品を配布していた。米や季節の農産物であった。

そこで、より皆様にふるさと納税してもらえよう、金額に応じた、ポイント制になった。1万円につき2ポイント。最低限の3万円すると、6ポイント、5万円以上で10ポイント付与する。

そのポイントで何がもらえるかだが、3ポイントでさばえ菜花米、パンセット。10ポイントで鯖江の地酒（大吟醸セット）、ペーパーグラス（薄型老眼鏡）等。

63品目から、ポイントごとに、150ポイントのものまで、お礼品が選べるようになった。同じ商品を複数選んでもよい。

寄付金なので、**使い道が指定**できる。眼鏡のまちを応援（7月末で約770万円）等の8分野からの選択できる。

鯖江市への納税額は、例年、500～600万円。それが制度改正により、今年は、7月末で約1,200万円。皆様のお陰で、たくさんの方にご理解願っている。

ふるさと納税で さばえを元気に

鯖江市役所 地方創生戦略室 主事 八田 理恵 様



実際にふるさと納税したい方の手続きについて、説明する。

- | | | |
|-----|-------------|-----|
| 納税者 | ① 寄付の申し込み | 鯖江市 |
| | ② 支払い書類の送付 | |
| | ③ 支払い・納税 | |
| | ④ 証明書・お礼品送付 | |

納税は、ホームページと外部サイトでの申し込みと支払いまで、できるシステム。電話と郵送で申し込みした場合、納付書で支払う方法になる。

郵貯銀行と金融機関から可能。郵貯銀行の場合、専用の払い込み用紙により、手数料無料で支払いできる。申込書も兼ねている。

金融機関の場合、情報が提供されている場合は、納付書に印字・作成して郵送される。それで支払いが可能。

鯖江市収納機関は、福井県内で申し込みの場合は、手数料がかからず、問題ない。鯖江市収納金融機関が、近くにない場合は、振込手数料が発生する振込の形になる。

次にふるさと産品の人気ランキングは、

1位、さばえ菜花米。米は、全国的にも人気があるが、さばえ菜花米は、安全安心で、人気が高まっている。（**下部写真①**）

2位、ペーパーグラス（薄型老眼鏡）。納税者の年齢層が、40～50代の方が多という事からかもしれない。（**下部写真②**）

3位、地酒。自分が飲む用とプレゼント用の2種類で、注文している方が多い。（**下部写真③**）

鯖江市にふるさと納税する場合は、時間をとって、丁寧に説明に伺う。何なりと鯖江市地方創生戦略室まで、問い合わせ願いたい。電話：53-2263



① **こだわり味じまん さばえ菜花米【通年】**

さばえ菜花米は、土中にさばえ菜花を緑肥としてすきこんで栽培したコシヒカリで、化学肥料を使わず、農業も通常の半分以下に抑えた安全・安心なお米。新米の時期は、配達までお待ちいただくことがあります。



② **Paper Glassは【通年】 「読む・見る・書くをもっと楽しく」**

フレームの厚さが、わずか2mmのスタイリッシュなシニアグラス。型はオーバル、スクエア、アンダーリムの3種。色はゴールド、シルバー、グレー、ピンク、レッド。度数は、+1.50、+2.00、+2.50、+3.00から。お選びいただいた方には、改めてご連絡いたします。



③ **鯖江の地酒・大吟醸セット【通年】 鯖江の地酒を 贅沢に飲み比べ**

鯖江市の3つの醸造元から、大吟醸酒を1本ずつ厳選。それぞれの蔵元が、丹精込めて造り上げた、自慢の逸品です。華やかで、フルーティーな香りと、滑らかな舌触りが特徴の『大吟醸酒』を是非、この機会にお楽しみください。

▲次回の例会 ▲第2720回 平成27年9月4日(金) 点鐘 12:30～